

●日本生理学会平成14年度第一回常任幹事会議事録

日 時：平成14年度3月27日（水）午後1時～5時

会 場：広島アンデルセン

出席者：（旧幹事）青木 藩，有田 眞，植村慶一，岡田泰伸，小澤瀨司，小野武年，金子章道，貴邑富久子，工藤典雄，久場健司，栗原 敏，菅 弘之，瀬山一正，曾我部正博，丹治 順，津本忠治，西野仁雄，板東武彦，福田 淳，本郷利憲，本間生夫，本間研一，前田信治，松尾 理，御子柴克彦，宮崎俊一，山下 博

（新幹事）青木 藩，今永一成，岡田泰伸，梶谷文彦，金子章道，彼末一之，河南 洋，城所良明，貴邑富久子，久場健司，久保義弘，倉智嘉久，栗原 敏，小泉 周，小西真人，佐久間康夫，曾我部正博，高木 都，西野仁雄，能勢 博，野間昭典，野村正彦，板東武彦，福島菊郎，本間生夫，前田信治，松井秀樹，御子柴克彦，水村和枝，宮崎俊一，宮下保司，山岡貞夫，吉村 恵，岡野栄之（当番幹事）緒方宣邦，柴 芳樹，河田 溥（次期）

欠席者：大森治紀（新旧），土居勝彦（旧），堀 哲郎（旧），松川寛二（当番幹事），丸山芳夫（新），泉井 亮（新）

議 長：瀬山一正（当番幹事）

報 告

1. 会計報告（栗原会計幹事）：平成13年度の会計決算報告・監査報告がなされた。収入は、ほぼ予算通りであったが、会費収入が予算より減少したのは学生会員の増加によるためである。会費納入率は約80%なので、今後、納入率増加に努めたい。賛助会費が減少気味である。今後の委員会活動を援助するためにも、賛助会員増加へむけて常任幹事各位のご協力をお願いしたい。故後藤先生のご遺族から寄付された100万円で、2009年IUPS開催時に後藤メモリアルシンポジウム（仮称）を開催することにした。

2. 庶務報告（本郷庶務幹事）：会員について平成14年度1月～3月の期間の入会217名，退会71名，自然消滅144名，現在の会員数3424名（一般会員3223名，特別会員29名，名誉会員10名，準会員134名，賛助会員28名，寄贈交換34件）であることが報告された。

逝去された評議員高比良英輔氏，評議員中島祥夫氏，評議員瀧森 徹氏，評議員日高 徹氏，特別会員鈴木達二氏，評議員熊田 衛氏に対して哀悼の辞

が述べられた。

研究助成として山田科学振興財団研究援助候補者に東田陽博氏（金沢大学），竹島 浩氏（東北大学）の2名を推薦した。痛覚系の可塑性国際シンポジウムへ後援，第12回日本神経回路学会全国大会協賛が報告された。

その他の事項として常任幹事選出の終了，科学研究費審査一次候補の選出終了が報告された。自然消滅会員に評議員が含まれることがあるので，注意喚起を常任幹事に依頼した。生理研連に学会大会開催時の保育所設置の要請を行った旨報告がなされた。

3. 日本生理学雑誌編集報告（金子編集幹事）：63巻12号から64巻1号を発行し，64巻4号までの編集が終了したとの編集状態について報告があった。名簿の電子化と学会HPの強化を予定していること，その準備として会員届出用紙を今大会の総合受付に用意しているので届出用紙への記入をお願いしたいこと，各自のホームページなどで業績を公開する方が増えているので，論文表題集の発行は廃止するとの報告がなされた。

4. JJP編集委員会報告（野間委員長）：入澤賞の

選考を行い、Vol.51, P.31—41, 2001, 筆頭著者山本信太郎氏とVol.51, P.613—619, 2001, 筆頭著者鬼丸洋氏の論文を受賞論文とした。国内購読部数が減少しているので、増加させるよう検討している。2003年度より費用の問題を除いて、電子化が可能である旨報告された。

5. 評議員選考委員会報告（宮崎委員長）：申請16名のうち15名を推薦した旨報告がなされた。

6. 選挙管理委員会報告（本間委員長）：新常任幹事（任期2年と4年）ならびに特別枠3名の選出を行ったことが報告された。

7. 会則委員会報告（工藤委員長）：会則改正案を議事として上げるとの報告があった。

8. 教育委員会報告（佐久間委員長）：副委員長を次期委員長に推薦し、委員長は2年任期（再任可）、教育委員長が常任幹事でないときは特別枠にとの報告が行われた。

9. 学術研究委員会（小澤委員長）：審議事項を議事としてあげている旨説明があった。

10. 研究倫理委員会（福田委員長）：サル飼育施設整備関連では、近日中にアメリカ視察を行い、中型動物（ネコ・犬）飼育設備に関してもネットワーク作りなどの援助を行うことが報告された。動物実験指針の英語訳を作成した旨報告があった。

11. 将来計画委員会報告（松尾委員長）：前回開催後新たな報告事項は無い旨報告された。

12. 賞選考委員会（瀬山委員長）：奨励賞受賞者（小林章子氏：高知医科大学第2生理学；松下正之氏：岡山大学大学院医歯学総合研究科）を決定した。今後は申請時の提出論文数は3編以内としたいとの報告がなされた。

13. 生理学研究連絡委員会報告（本郷委員長）：2009年開催IUPS大会は、2006年に学術会議に共同主催を申請する。科研費関連は議事としたことが報告された。

14. 国際交流委員会・IUPS組織委員会報告・国際生理科学連合報告・アジア大洋州生理科学連合報告（金子委員長）：2009年IUPSの日本開催が決まったので、IUPS関連の仕事は組織委員会等へ移った。

FAOPSが今年マレーシア（クアラルンプール）で開催される旨報告があった。

15. 第80回日本生理学会大会の準備状況報告（当番幹事）：今永幹事から、第80回大会は薬理学会と合同で平成14年3月24日～26日の日程で福岡国際会議場等を会場として開催する。各学会独自の特別講演・シンポジウムとプログラム委員会提案のもの並びに公募シンポジウムを企画している。講演（OHP・PC使用）は600題予定（演題12分）、ポスターは1200題を予定、詳細は第2報で知らせる。登録はUMINで行う。予稿集はCD-ROMとして配布することが報告された。

16. 第79回日本生理学会の準備状況報告（当番幹事）：瀬山幹事から準備状況が報告され、大会活性化への常任幹事の協力をお願いした。

議 題

1. 前回議事録が承認された。

2. 役員、委員長の改選：改選に先立ち本郷庶務幹事から、以下の提案があり承認された。選挙権・被選挙権は改選時の常任幹事のみにある（幹事会出席の常任幹事でない委員長ならびに当番幹事は該当しない）。庶務・会計・編集幹事は投票で選出し、委員会委員長は活動状況に応じて順次選出するものとし、推薦や新3幹事相談などのうえ選出を行う。投票は多数決で、同数時は決戦投票で決する。上記方法で選出が行われ、以下の新役員が選出された。

会 長	金子章道
財務幹事	宮崎俊一
編集・広報幹事	岡田泰伸
学術・研究委員会委員長	大森治紀
研究倫理委員会委員長	板東武彦
将来計画委員会委員長	高木 都
会則委員会委員長	

1ヶ月以内に金子会長が候補者を推薦し常任幹事に承認を求めることとした。（その結果、本間生夫氏に決定）

教育委員会委員長	河南 洋
----------	------

国際交流委員会委員長 城所良明
 選挙管理委員会委員長 小西真人
 評議員選考委員会委員長 貴邑富久子
 会計監事 栗原 敏, 御子柴克彦

3. 平成14年度予算について(栗原会計幹事) :
 提案された予算案を承認した。

4. 男女参画委員会(仮称)の設置(水村幹事) :
 男女参画委員会(仮称)の設置について説明があり,
 委員長を水村幹事とすることを承認した。名称につ
 いては, 男女協同参画委員会などの提案があり, 今
 後検討することとした。

5. 評議員の推薦について(宮崎委員長) : 申請者
 16名の内15名を推薦することを承認した。

6. 会則の改定について(工藤委員長) : 常任幹事
 の中に会長及び財務幹事, 編集・広報幹事等を置く
 と改定し, 今回評議委員会, 総会で承認後に名称変
 更を行うこととした。関連して, 庶務幹事に関する
 内規は削除し, 日本生理学雑誌編集委員会は編集・
 広報委員会に名称変更する。10条当番幹事の役割に
 ついては今後検討する。上記事項を承認した。

7. 科学研究費補助金「系・分野・分科・細目・亜
 細目」の改定への対応について(小澤学術・研究委
 員長, 本郷生理学研連委員長)

(A) 科研項目への対応研連について: 生理学一般,
 環境生理学, 亜細目として分割される神経生理学,
 筋肉生理学については生理学研連が従来通り対応研
 連を務める。また, 新たな3細目等 ①「健康・スポ
 ーツ科学」分野, 「身体教育学」細目, 「身体の仕組
 みと発達のメカニズム」亜細目: ②「健康・スポ
 ーツ科学」分野, 「スポーツ科学」細目, 「スポーツ医
 学」亜細目: ③「生物科学」分野, 「生物物理学」細
 目) に対応研連として立候補し, 認められた。「環境
 生理学」細目に対しては体力科学研連が対応研連に
 立候補し認められた。体力科学研連が窓口研連とな
 っている細目等に対しては生理学研連は審査員を当
 面出さないこと, 「生物物理学」細目に対しては窓口
 研連となっている生物物理学研連と協議の結果, 生
 理学研連は審査員候補者6名を推薦することとなった

(平成15年度審査員候補推薦について, 生理学会と生
 物物理学会の両学会に所属する会員の中から小澤委
 員長, 本郷生理学研連委員長および岡田研連幹事が
 協議の上12名を推薦し, その中から学術・研究委員
 会が6名を選出した)。また, 環境生理学の審査委員
 候補者の推薦は, 自律神経学会, 生気象学会, 宇宙
 航空環境医学会の3学会に交互に割り当てるものと
 した。

(B) 平成15年度審査員候補者推薦について: 審査
 委員候補はすべて新規に選出することにする。しか
 し, 昨年1年間のみ審査員を務めた者については推薦
 が受け付けられるので, 候補者リストの上位に記載
 することとしたい。これらの提案は承認された。今
 後, 常任幹事会で推薦する審査委員候補者として多
 数の候補が必要になるので, 生理学会会員名簿登録
 時の専門分野キーワード記載に基づき行うことを承
 認し, 常任幹事にこれらデータベース作成への協力
 をお願いする。生理学会の申し合わせで決められて
 いる審査員終了後の再任禁止期間を2年から1年間に
 短縮することについて再検討し, 必要なら次回幹事
 会に提案することとした。

(C) 科研費の審査がキーワードに基づいて行われ
 る可能性があるので, 作成した平成15年度以降の生
 理学関連のキーワードの見なおしを進め, キーワ
 ードとして内容の明確具体化を検討し, さらに改定を
 継続してゆく方針について承認した。

8. その他

(A) IUPS関連(金子組織委員長) : IUPS公的援
 助や企業財団援助をお願いするためにも, 生理学会
 会員による募金を先行して行うことが承認された。

(栗原IUPS財務担当委員) : 賛助会員44の増加に
 ついて常任幹事への協力をお願いした。

(B) 生理学会ロゴマークについて(金子会長) :
 現在のロゴマーク以外にもロゴマークを今後製作す
 ることを承認した。

(C) 生理学会の役職・委員会名の英文表記につ
 いて3専任幹事によりワーキンググループを作り検討す
 ることを承認した。

(D) 委員・委員長の任期について(金子会長) :

委員長・委員とも2年任期とし、重任は認める（常任幹事の任期は4年なので、最長は4年となる）ことを承認した。

(E) FAOPSについて（金子会長）：FAOPS代議委員会に派遣する5名の人選は、3専任幹事に一任することとした。

(F) 新・前委員長の評議員会，総会への出席をお願いした。

●日本生理学会平成14年度評議員会・総会議事録

日 時：平成14年度3月29日（木）午後1時～2時

会 場：県立広島女子大学

議 長：緒方宣邦（当番幹事）

報 告

1. 平成13年度第1回常任幹事会報告（緒方当番幹事）：平成14年3月27日に開催した。

2. 庶務報告（金子庶務幹事）：常任幹事選出（任期2年と4年，特別枠7名）の終了，会員について平成14年度1月～3月の期間の入会217名，退会71名，自然消滅144名，現在の会員数3,424名（一般会員3,223名，特別会員29名，名誉会員10名，準会員134名，賛助会員28名，寄贈交換34件）であることが報告された。自然消失会員発生に注意喚起をお願いした。逝去された評議員高橋日出彦氏，評議員上田篤次郎氏，特別会員後藤昌義氏，評議員尾島光栄氏，評議員菅野 司氏，特別会員須田 勇氏，評議員荒木辰之助氏，評議員森田之大氏，評議員高比良英輔氏，評議員中島祥夫氏，評議員瀧森 徹氏，評議員日高 徹氏，特別会員鈴木達二氏，評議員熊田 衛氏に対して哀悼の辞が述べられた。故後藤先生ご遺族からの寄付を，後藤基金とすることが述べられた。

3. 特別会員の推薦（金子庶務幹事）：宮本博司先生（徳島大学）と富田忠雄先生（名古屋大学）の特別会員推薦を承認した。

4. 平成13年度会計報告及び平成14年度予算（栗原会計幹事：決算報告，宮崎会計幹事：予算報告）：栗原会計幹事より平成13年度の会計決算報告がなされ宮崎会計監事より監査報告がなされ，承認した。収入は，ほぼ予算通りであったが，会費収入の予算よりの減少は学生会員の増加によるものである。平成14年度予算案が宮崎会計幹事から報告され，承認された。〔表1〕

5. 日本生理学雑誌編集報告（岡田編集幹事）：平成13年度編集状態について報告した。名簿の電子化と学会HPの強化を予定し，会員届出用紙で今学会の

総合受付で記入をお願いした。

6. JJP編集委員会報告（野間委員長）：編集状態について報告した。国内購読部数が減少しているので，購読をお願いした。JJP平成13年度優秀論文賞（入澤賞）の選考をEDITORにより行い，10篇より上位4編より2編を選んだ。Vol.51 P.31—41，2001，筆頭著者山本信太郎氏とVol.51 P.613—619，2001，筆頭著者鬼丸 洋氏の論文とした。

7. 評議員選考委員会報告（木村委員長）：申請16名のうち推薦された15名を評議員承認した。〔表2〕

8. 選挙管理委員会報告（本間委員長）：平成14年度科研費審査員候補者第一段12名（環境6名神経6名一般生理2名）を選出した。新常任幹事（任期2年と4年）ならびに推薦による特別枠3名の選出を行った。〔P137参照〕平成15年度科研費審査員候補者の評議員による選出を行う予定。

9. 会則委員会報告（工藤委員長）：会則改正として常任幹事の中に会長及び財務幹事，編集・広報幹事等を置くと改定し，承認後に名称変更を行うこととした。関連して，付則の常任幹事の任期を4年にし，常任幹事の特別枠を設けた。庶務幹事に関する内規は削除し，日本生理学雑誌編集委員会は編集・広報委員会に名称変更する。上記事項を承認した。〔P138参照〕

10. 教育委員会報告（河南委員長）：今大会でチュートリアルに関する教育シンポジウムを開催した。MCQによる生理学問題集の改定は，今後の教育試験等の状況により判断することとした。FD問題は各地区毎の開催資料を先ず取りまとめることとした。次回80回大会では，「生理学とは（仮題）」として行うこととした。

11. 日本学術会議生理研連委員会報告（本郷委員

長)：第79回大会で生理研連シンポジウムを開催した。科学研究費補助金「系・分野・分科・細目・亜細目」の改定への対応について(A)科研項目への対応研連について：従来通り生理学一般、環境生理学、神経・筋肉生理学については対応研連を務める。新たな3(亜)細目(健康・スポーツ科学、スポーツ科学、身体の仕組みと発達のメカニズム：健康・スポーツ科学、スポーツ科学、スポーツ医学：生物物理学)に立候補し、認められた。体力科学研連が環境生理学に立候補し、審査員の相互乗り入れについては、関連学会と調整している。「環境生理学」は5名を生理学会より、1名を別学会とした。「生物物理学」では審査員候補者2名を推薦することとした。

12. 学術・研究委員会報告及び科学研究費制度改定への対応について(小澤委員長)：神経科学の亜細目として神経生理学と筋肉生理学の2分野が認められた。応募者が多数になることの希望が述べられた。新たな(亜)細目(生物物理学)の審査員候補者6名の推薦依頼が生物物理学会よりあり、両学会所属会員より本委員会へ選出し、常任幹事承認を得ることとした。従来通り、1段審査員候補者は常任幹事、2段審査員候補者は評議員で選出するが、名簿登録時に科研費キーワード記載を依頼した。平成15年度以降の生理学関連のキーワードの見なおしを進め、キーワードとして内容の明確具体化を検討し、さらに改定を継続してゆく方針について承認した。

13. 研究倫理委員会報告及び動物実験に関する指針の改定並びにその英語版について(坂東委員長)：福田前委員長のもと指針の変更と英文訳を作成した。サル飼育施設整備の設置と実験計画ファイルの整備を検討し、今後中型動物(ネコ・犬)飼育施設問題の推進が報告された。金子会長より動物実験遂行時の指針遵守が述べられた。[P140~146参照]

14. 将来計画委員会報告(高木委員長)：生理学会活性化を図るために「若手の会」「女性の会」より提案された常任幹事枠の変更を行い、特別枠を設けた。生理学会と関連学会の連携強化と事務局強化を今後更に検討することとした。

15. 賞選考委員会(瀬山委員長)：奨励賞受賞者(小林章子氏：高知医科大学第2生理学；松下正之

氏：岡山大学大学院医歯学総合研究科)を決定した。

16. 国際交流委員会及び2009年IUPS大会日本開催決定の報告(金子幹事)・17. 国際生理科学連合報告(金子IUPS副会長)・18. アジア大洋州生理科学連合報告(金子FAOPS理事)：2009IUPS日本開催が決定したことが報告された。FAOPSが今年マレーシア(クアラルンプール)で開催される旨報告があった。

19. 第81回(平成16年)日本生理学会大会の開催地について(金子幹事)：北海道大学・札幌医科大学等の北海道地区で開催する。

20. 第80回日本生理学会大会(平成15年)の準備状況報告(今永次期当番幹事)：第80回大会は日本薬理学会と合同で平成14年3月24日~26日に福岡で開催する。一般公募シンポジウム35題(6月中旬締め切りで詳細は第2報で知らせる)を企画している。登録はUMINで行う。予稿集はCD-ROMとして配布することが報告された。

21. 第79回(平成14年)日本生理学会大会報告(緒方当番幹事)：出席者1,669名IUPSシンポジウム・生理研連シンポジウムを開催した。

22. JJP平成13年度優秀論文賞(入澤賞)表彰：Changes in Cell Volume Induced by Activation of the Cyclic AMP-dependent Chloride Channel in Guinea-Pig Cardiac Myocytes：山本信太郎、頼原嗣尚、塩谷孝雄(佐賀医科大学生理学講座)(Vol.51 No.1 P.31—41, 2001)：Optical Recording of Spontaneous Respiratory Neuron Activity in the Rat Brain Stem: 鬼丸 洋、徳増正之、中園嘉己、井出英人、赤川公朗(昭和大学医学部第二生理、青山理工学部電気電子工学科、杏林大学医学部第二生理学)(Vol.51 No.5 P.613—619, 2001)

23. 第3回日本生理学会奨励賞表彰：小林章子氏(高知医科大学第二生理学)「熱産生調節機構の解明」、松下正之氏(岡山大学大学院医歯学総合研究科細胞生理)「蛋白質セラピー法による学習、記憶の分子機構の解明」が表彰された。

24. 謝辞：前開催校当番幹事より今学会当番幹事に謝辞が述べられた。

RECORDS

[表1]

平成13年度日本生理学会会計決算報告

自平成13年1月1日

至平成13年12月31日

(内 訳)	収		入		備 考
	13年度予算	13年度決算	差額		
A 前年度繰越金	590,309	590,309			
B 平成13年度収入	36,017,700	34,279,495			
会費	29,770,200	27,201,000	-2,569,200		一般会員
購読料	1,111,500	1,149,500	38,000		準会員 (研究所・図書館等)
論文掲載料	100,000	294,937	194,937		
広告料	2,880,000	2,845,080	-34,920		
会誌分冊売り	5,000	4,000	-1,000		
預金利子	1,000	461	-539		
日本医学会奨励金	200,000	200,000	0		
印税	100,000	350,482	250,482		用語集・実習書・MCQ
論文表題集	1,800,000	1,729,175	-70,825		
雑収入	50,000	504,860	454,860		
収入計 (A+B)	36,608,009	34,869,804	-1,738,205		

(内 訳)	支		出		備 考
	予算	実績	差額		
会誌印刷代	12,000,000	10,788,183	1,211,817		62.10-63.10, サブルメント
会誌送代	3,000,000	2,741,015	258,985		同上
編集会議費	150,000	89,321	60,679		日本生理学雑誌
原稿料	50,000		50,000		同上
委員会活動費	500,000	150,000	350,000		若手の会
大会援助費	1,000,000	1,000,000	0		広島大学
事務室使用料	2,508,000	2,508,000	0		
事務室光熱費	300,000	313,253	-13,253		
通信費	1,000,000	892,672	107,328		
事務費	900,000	900,908	-908		
備品	300,000	152,617	147,383		パソコン
会合費	350,000	495,292	-145,292		幹事会, 委員会
旅費	1,800,000	2,277,900	-477,900		幹事会, 委員会
人件費	5,600,000	5,420,096	179,904		含 (アルバイト)
社会保険	620,000	650,090	-30,090		
退職金積み立て	120,000	120,000	0		
名簿積み立て	500,000	500,000	0		
論文表題集	1,800,000	1,234,238	565,762		
国際交流基金	250,000	250,000	0		
IUPS 大会準備金	250,000	250,000	0		
FAOPS 会費	800,000	798,900	1,100		\$6,000
雑費	150,000	192,793	-42,793		献花, 清掃, 他
予備費	-33,898,000	200,000	-34,098,000		生理研講習会他
支出計	50,000	31,925,278	-31,875,278		
平成14年度繰越金			2,944,526		

平成 14 年度日本生理学会会計予算 (案)

自 平成 14 年 1 月 1 日

至 平成 14 年 12 月 31 日

(内 訳)	収 入	
	14 年度予算	備 考
A 前年度繰越金	2,944,526	
B 平成 14 年度収入	31,607,500	
会費	26,910,000	一般会員
購読料	1,111,500	準会員 (研究所・図書館等)
論文掲載料	100,000	
広告料	2,880,000	
会誌分冊売り	5,000	
預金利子	1,000	
日本医学会奨励金	200,000	
印税	100,000	用語集・実習書・MCQ
雑収入	300,000	
収入計 (A+B)	34,552,026	

(内 訳)	支 出	
	予算	
会誌印刷代	10,000,000	63.11-64.10, サプリメント
会誌発送代	2,500,000	同上
編集会議費	150,000	日本生理学雑誌
原稿料	50,000	同上
委員会活動費	500,000	教育委員会, 若手の会他
大会援助費	1,000,000	福岡大学
事務室使用料	2,508,000	
事務室光熱費	320,000	
通信費	1,000,000	
事務費	900,000	
備品	300,000	
会合費	500,000	幹事会, 委員会
旅費	2,300,000	幹事会, 委員会
人件費	5,600,000	含 (アルバイト)
社会保険	680,000	
退職金積み立て	120,000	
会員情報費	504,000	
国際交流基金	250,000	
IUPS 大会準備金	250,000	
FAOPS 会費	800,000	\$6,000
講習会補助費	200,000	生理研講習会
雑費	200,000	献花, 清掃, 他
予備費	3,920,026	
支出計	34,552,026	

〔表2〕

平成 14 年度新評議員名簿

東京歯科大学生理学講座	遠藤 隆行
東京女子医科大学第二生理	尾田 正二
三重大学医学部耳鼻咽喉科	小林 正佳
東海大学医学部内科	近藤 哲理
浜松医科大学光量子	櫻井 孝司
高知医科大学第二生理	佐藤 隆幸
長崎大学医学部第一生理	嶋田 敏生
岡山大学医学部第二生理	清水 壽一郎
東京女子医科大学第二生理	白川 英樹
産業医科大学第一生理	芹野 良太
明治薬科大学病態生理	田中 資子
名古屋大学医学部第二生理	成瀬 恵治
産業医科大学第一生理	野口 淳
横浜市立大学医学部第二生理	美津島 大
近畿大学医学部第一生理	村田 哲

日本生理学会常任幹事
 (任期平成14年—平成18年改選時)
 (*任期平成14年—平成16年改選時)

北海道地区	青木 藩	*福島 菊郎
東北地区	*丸山 芳夫	泉井 亮
関東地区	城所 良明	*貴邑富久子
	*野村 正彦	板東 武彦
	*山岡 貞夫	
東京地区	岡野 栄之	*小西 真人
	佐久間康夫	本間 生夫
	*御子柴克彦	*宮崎 俊一
	宮下 保司	
中部地区	*岡田 泰伸	久場 健司
	*曾我部正博	西野 仁雄
	水村 和枝	
近畿地区	大森 治紀	彼末 一之
	*高木 都	*野間 昭典
中国四国地区	*梶谷 文彦	前田 信治
	*松井 秀樹	
九州地区	今永 一成	*河南 洋
	吉村 恵	
<特別枠>		
	久保 義弘	小泉 周
	能勢 博	
IUPS大会組織委員会	金子 章道	栗原 敏
主要メンバー	岡田 泰伸	倉智 嘉久